

編集部の
授業見学レポート

教材名

使 い す ぎ っ て、ど う い う こ と ？

教科書

1 年 P.89～90

実践者

中井康平 先生
千葉大学教育学部附属中学校

見学にあたって

◆ 現在、ほとんどの人が、スマートフォンやタブレット端末などを利用しています。それらの普及が進み、便利な世の中になりましたが、使いすぎによる健康被害などが問題となることも。授業を通して、節度ある端末の使い方や大切にしたいマナーについて、生徒がどのように考えを広げたり、深めたりできるのか、興味深く拝見しました。

授業の概要

◆ 生徒数：30 人程度。
◆ ICT 環境：黒板の中央に、先生の PC 画面を投影できるスクリーン（着脱可能）が設けられていました。端末を使って、クラスで意見を共有する場面がありました。
◆ 教材について：「情報端末の使いすぎでは？」と感じられるような「A：夜遅くにメッセージを送る」「B：受信したらすぐにメッセージを返す」「C：友達と話していてもスマートフォンを触る」「D：アプリ（ゲームなど）に課金をしている」「E：話題がいつもインターネットやゲームの話」の五つの行動について、「節度が守られていないと思う順番」に順位をつけ、お互いの順位づけとその理由などについてグループで交流しながら考えを深めていく教材です。

当日の授業の流れ		
	学習活動／先生の発言／生徒の発言・様子	編集部のまなび／指導の工夫
導入	端末の使い方について、自分の生活を振り返る。〈5分〉 ●「私のスマートフォン・タブレット端末 使い方チェック」というアンケートに答えてもらいます。 「勉強中についついスマートフォンを触ってしまう」 ・ある。 ・意外と触らない。 ・スマートフォンは持っていない。 「スマートフォンが常に自分のそばにないと不安に感じる」 ・そこまでではない。 「(ダイレクト) メッセージにはすぐに反応しないといけないと思う」 ・人によって違う。 ・親にはすぐに返事しないと怒られる。 「睡眠時間を削ってスマートフォン・タブレット端末を使用してしまうことがある」 ・ゲームをしていたら、いつのまにか夜中になっていたことがある。 「スマートフォンの画面を見ながら人の話を聞いたり、人と話したりすることがある」 ・それは失礼だと思う。 ●今日は、節度ある端末の使い方について考えます。	◆ 導入で、動きのあるアンケート結果を見ながら生徒どうして実態を把握していた。本時の内容に対する生徒の興味・関心がより高まるように工夫されていた。 ◆ アンケートの回答に対しては、必要に応じて、先生が反応を返していた。 ◆ アンケートに本音で回答したかどうか、確認。 ◆ 本時で考えることを提示した後、生徒がパソコン・スマートフォン・タブレット端末を所持しているかどうか、簡潔に確認。
展開	「使 い す ぎ っ て、ど う い う こ と ？」の冒頭を読む。〈3分〉 ●教科書 P.89 を開いてください。(先生による朗読。)	◆ 先生による朗読。

	端末を使いすぎること起こりうる問題について、考える。〈17 分〉 ●スマートフォンやタブレット端末を使いすぎしまうと、起こりそうな問題はなんだろう。「健康」、「人との付き合い方」、「礼儀」、「学習」の四つの観点から、ワークシートに考えたことを書いてみよう。 ・（四つの観点について、生徒からは以下のような意見が出た。） 【健康】頭痛／朝がつらい／睡眠に悪い影響が出る／依存症になる／視力の低下 【人との付き合い方】スルーされる／人の話を聞けなくなる／返事が適当になる 【礼儀】先生が話しているときにも、端末を使ってしまう 【学習】集中できない／関心が散る	◆ 机間指導しながら、先生自身の経験や考えを、適宜生徒に伝える。生徒が考えるためのヒントを与えるだけでなく、先生もいっしょに考えているという姿勢を示していた。 ◆ ある程度生徒が記入した後、隣の人らと話し合うよう指示。その後、挙手制で意見を発表させる。 ◆ 生徒の発言から想定される場面を、先生が演じることで、他の生徒がイメージしやすくなっていた。
	教科書 P.90 ㉑について考える。〈10 分〉 ● A から E のような行動を取る理由と、A から E のような行動を取り続けると、どんな結果を招くかについて、考えましょう。 【A：夜遅くにメッセージを送る】 ・行動の理由：塾にいたから、スマートフォンが見られなかった。そもそも夜行性。 招く結果 ：返信を待っていたので、つい夜更かしをしてしまった。寝不足。 【B：受信したらすぐにメッセージを返す】 ・行動の理由：メッセージが気になる。早く返信しないと嫌われそう。 招く結果 ：他のことをする時間が減る。 【C：友達と話していてもスマートフォンを触る】 ・行動の理由：通知にそわそわ。スマートフォンが気になるから。 招く結果 ：友達とトラブルが起きる。すごく失礼。 【D：アプリ（ゲームなど）に課金している】 ・行動の理由：ゲームが進めやすくなるから。楽しいから。 招く結果 ：お金がなくなる。トラブルになる。 【E：話題がいつもインターネットやゲームの話】 ・行動の理由：話が盛り上がるから。情報を共有したいから。 招く結果 ：問題はないと思う。やっていない人が仲間外れになる。	◆ ワークシートには、教科書と同じ A から E のイラストを貼り付け、その横に、「行動を取る理由」と「取り続けると招く結果」について、記入する欄が設けられている。 ◆ ある程度生徒が記入した後、隣の人らと話し合うよう指示。その後、挙手制で意見を発表させる。 ◆ 先生自身の考えを、適宜生徒に伝える。
	教科書 P.90 ㉒について考える。〈10 分〉 ● A から E の使い方について、より「節度が守られていない」と思うものから、より「節度が守れている」と思うものへ、順位をつけてみましょう。どうしてその順位にしたのか、理由も考えましょう。 ・ B、C、D を、節度が最も守られていないとする生徒が多かった。（いずれもほぼ同数。） ・ E は、より節度を守れていると考える生徒がほとんどだった。	◆ Google Classroom で、イラストが配置されたプレゼンテーションを生徒に共有。生徒の人数分のスライドを用意し、出席番号と同じ番号のスライドを使って、イラストを並べ替えさせる。
終末	スマートフォンやタブレット端末を使ううえで、節度を守るとはどういうことか、考える。〈5分〉 ●スマートフォンやタブレット端末を使ううえで、節度を守るとはどういうことか、考えましょう。 ・（それぞれが振り返りシートに記入する。） ●（生徒が記入した内容を、ChatGPT に要約させ、学級通信として配付。）	◆ 授業で学んだことを記入する振り返りシートを用意。